

一 次の文章を読んで後の問一～問十一に答えなさい。

これまで私たちが家族と呼んできたものは戦後的家族の形態であった。それは夫婦二人を軸にして子どもがいたりするかたちである。ときには祖父母も同居しているが、近親者によって a コウセイ<sup>a</sup>され、核家族化<sup>\*</sup>していく形態が戦後的家族である。A シェアハウスがひろがってくると、シェアハウスで同居するメンバーに家族を感じる人々が生まれてきた。シェアハウスだけに限らず、たえず会話をし、ときに協力し合う仲間の世界に、新しい家族を感じる人も現れてきた。そのメンバーのなかに結婚し出産する人たちが現れても構わない。結婚した人をもふくめて、共にいることに安心感がある関係のなかに家族を感じる。そんな家族観も芽生えはじめた。もちろん、これからそれがどう展開していくのかはわからない。しかしここでも、①旧来の考え方が変化しはじめていることはみておいてもよい。

これからは、②これまで常識だと思われていたものが、次々に虚無化<sup>\*</sup>していくだろう。B 今日の常識とは、近現代の常識にすぎないからである。そして新しい試みが積み重ねられていく。

大きな企業に勤めれば生涯安泰だという日本の戦後的常識はすでに虚無化している。国家は私たちの暮らしを守ることができるはずだという常識も虚無化した。そしてそれは、代議制民主主義をも虚無化させる。よい政権ができれば私たちの暮らしも守られるという発想自体が、先進国が世界の富を b ドクセン<sup>b</sup>した時代のものでしかないからである。もちろん多少はマシな政権を選ぶことはできるだろう。それも無視してよいことではないし、ときには権力の暴走を阻止するために投票することも必要だろう。だが代議制民主主義とは、私たちが「人々」として生きることを強制するシステムであり、すべての「人々」を支える能力を国家が失った以上、それは根本的には二重の虚無<sup>\*</sup>でしかないのである。第一に私たちが「人々」として生きなければならぬという虚無において、第二にその「人々」を支える能力を国家が失ったという虚無において。さらには個人を基盤にした市民社会という構造も、虚無のなかに崩れ去っていくだろう。

近現代はさまざまな革新的なものを生みだしているようにみえた。確かに政治、社会思想では次々に新しい理論が生まれ、科学も経済も新たな地平を切り開いていった。だからこそ「人々」は解放されていく時代という熱狂のなかに巻き込まれていったのである。

だが私は、近現代とは基本的には保守主義の時代<sup>\*</sup>だのではないかと思っている。

C 科学は確かに進歩した。その意味では科学は革新的に展開した。しかしそれは、科学的方法論は正しいという絶対的保守主義を前提にして進歩したものに過ぎなかった。だから③この時代は、科学という方法に依拠<sup>※いよ</sup>しないでものごとをとらえる思考を衰弱させた。

国家のあり方については議論があっても、国家の存在自体は前提でありつづけるという保守主義、市民社会のあり方はさまざまに提起されていても、市民社会が前提にあるという保守主義、経済のかたちについての議論はあっても経済発展が人々を豊かにすることを絶対化する保守主義。そういった保守主義がこの時代を c 覆<sup>\*</sup>っていた。【1】

私たちはたえずさまざまなことについて議論し、そのいくらかを改革してきた。【2】だがその前提となるものは、与えられたものを受け入れるしかなかった。すなわち④成立したものを追認するという保守的な生き方に巻き込まれていったのである。

資本主義が生まれれば、資本主義を追認しながら生きていくしかなかった。【3】だがこの動きも、資本主義の d 矛盾<sup>\*</sup>は社会主義によって解決されるという与えられた所見を追認するかたちでしか展開しえなかった。与えられたものを追認する保守主義から抜け出すことはできなかったのである。【4】

⑤市民社会が生まれれば市民社会を受け入れながら暮らし、国民国家が生まれれば国民国家を受け入れながら暮らす。科学や技術が進歩すれば、それもまた受け入れながら暮らす。それはちょうど今日の携帯電話のようなもので、携帯電話が生まれる前から、この電話の誕生を熱望していた人など一人もいない。ところが、携帯電話が誕生した。だからそれを受け入れた。その結果多くの人が受け入れてしまうと、携帯電話をもたない暮らしが e コンナン<sup>e</sup>になってしまった。誰もがもっていることを前提にした社会ができてしまったのである。

近現代とはすべてがこんなふうに展開していった。受け入れていくうちに、受け入れざるをえない社会がつけられていった。私が近現代とは X だというのは、このような意味においてである。

(内山節『新・幸福論―「近現代」の次に来るもの―』)

(注) 核家族……………夫婦と、その未婚の子どもからなる家族。

虚無……………価値や意味がなく、むなしなこと。

代議制民主主義……………国民に選ばれた代表者が政治を行うことで、国民が間接的に政治に参加すること。

市民社会……………自由・平等な個人によって生活が営まれる社会。

保守主義……………古くからの伝統や慣習を尊重して守ること。

依拠……………よりどころとすること。

資本主義……………資本家が労働者から労働力を買って商品を生産し、利益を得る経済体制。

社会主義……………国家が国民の財産を管理して平等を実現しようとする経済体制。

国民国家……………国民を単一の制度によって統一した国家。

問一 二重傍線部 a と e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直さない。

問二 空欄 A と C に当てはまる言葉として適当なものを次の (ア) ～ (カ) よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。  
(ア) また (イ) とくろが (ウ) たとえば (エ) だから (オ) なぜなら (カ) つまり

問三 次の一文を入れるのに適当な箇所を本文中の【1】～【4】より一つ選び、記号で答えなさい。

《もちろんそれを否定しようとした社会主義の運動も発生している。》

問四 波線部「それは根本的には二重の虚無でしかないのである」を文節に分けた場合、何文節となるか。漢数字で答えなさい。

問五 傍線部①「旧来の考え方が変化しはじめている」とあるが、家族観は具体的にどのような変化したか。その説明として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 生まれも育ちも異なるが、共通の趣味を持ち、シェアハウスで一緒に暮らす友人に、家族を感じるようになった。
- (イ) 法律上の婚姻をした夫婦の関係ではなく、協力し合って暮らすパートナーの関係に、家族を感じるようになった。
- (ウ) シェアハウスで同居し、互いの長所と短所を素直に指摘し合うことができる友人に、家族を感じるようになった。
- (エ) 親子など近親者の関係でないにも関わらず、共にいることに安心する仲間の関係に、家族を感じるようになった。

問六 傍線部②「これまで常識だと思われていたものが、次々に虚無化していく」とあるが、筆者は具体的にどのような常識が虚無化すると述べているか。その例として誤っているものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 大企業に就職すれば一生の生活が安定するという常識。
- (イ) 国家が私たちの暮らしを守ることができるという常識。
- (ウ) よい政権を選べば「人々」として生きることができるという常識。
- (エ) よい政権ができれば私たちの生活を守ることができるという常識。

問七 傍線部③「この時代は、科学という方法に依拠しないでものごとをとらえる思考を衰弱させた」とあるが、それはなぜか。その説明として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 近現代の人々は、科学的方法論は正しいという考えに基づいて科学を進歩させたから。
- (イ) 科学が予想を超えて急速に発展したので、科学という方法を疑う余地がなかったから。
- (ウ) 人々は革新的なものを生みだす近現代に熱狂し、科学の進歩に完全に魅了されたから。
- (エ) 近現代は新しい理論が次々に生まれたが、科学的方法論のみが正しい思考だったから。

問八 傍線部④「成立したものを追認するという保守的な生き方に巻き込まれていった」を言い換えた箇所を本文中から三十一字で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問九 傍線部⑤「市民社会が生まれれば市民社会を受け入れながら暮らし、国民国家が生まれれば国民国家を受け入れながら暮らす」とあるが、これによりどのような社会が生まれたか。本文中から二十字以上二十五字以内で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問十 空欄 X に入る語句として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 携帯電話の革新 (イ) 保守主義の時代 (ウ) 相互協力の世代 (エ) 個人主義の台頭

問十一 本文の内容に関する説明として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 近現代は戦争をきっかけとして人々の生活様式が大きく変わったので、家族観も変化した。
- (イ) 近現代はさまざまな分野で変革が起きたが、人々が熱狂したものは次々に虚無化している。
- (ウ) 近現代は与えられたものをただ受け入れるだけだったので、主体的に考える力が低下した。
- (エ) 近現代は人々が前から熱望していた携帯電話が誕生し、誰もが所持する社会になっている。

二 次の文章を読んで後の問一～問八に答えなさい。

山に、叡美阿闍梨といひて貴き人ありけり。帝の御悩み重くおはしましけるころ、召しければ、たびたび辞し申しけれど、重ねたる仰せいなもかたくて、なまじひにまかりける道に、あやしげなる病人の足手もかなはずして、ある所の築地のつらにひらがり伏せるありけり。阿闍梨、①これを見て、悲しみの涙を流しつつ車より下りて、あはれみとぶらふ。食ひ物求めあつかふほどに、やや久しくなりにけり。勅使、「日暮れぬべし。」②いといと便なきことなりといひければ、まゐるまじき。かく、その由を申せといふ。御使驚きて、故を問ふ。阿闍梨いふやう、「世を厭ひて心を仏道に任せしより、帝の御こととても、あながちに貴からず。かかる 非人とても、またおろかならず。ただ同じやうに覚ゆるなり。この 病者に至りては、厭ひきたなむ人のみありて、近づきあつかふ人はあるべからず。③もし我捨てて去りなば、ほとほと命も尽きぬべし」とて、彼をのみあはれみ助くるあひだに、つひにまめらずなりにければ、④時の人ありがたきことになむいひける。

(鴨長明『発心集』)

(注) 山…比叡山 貴き…尊い 御悩み重くおはしましける…ご病気が重くいらつしやつた 召しければ…(帝は病気の治癒のために阿闍梨を) お呼びになったところ 重ねたる仰せいなもかたくて…度重なる帝の命令を断るのも難しくて なまじひにまかりける…仕方なく参上した あやしげなる…みすばらしい様子の 足手もかなはずして…手足も動かさないで 築地のつらにひらがり伏せる…土堀の前で這いつくばっていた とぶらふ…見舞う あつかふ…世話する 久しくなりにけり…長くなった 便なきこと…不都合なこと まゐるまじき…参上しないつもりだ かく、その由を申せ…このように申し上げよ 世を厭ひて心を仏道に任せしより…世間を嫌って心を仏道にゆだねたときから あながちに貴からず…とりたてて尊くはない 非人…貧しい人 おろかならず…おろそかに扱えない 厭ひきたなむ人…嫌い汚がる人 時の人…当時の人々 ありがたきこと…すばらしいこと

問一 この文章には、発言を示すかぎかつこ(一)が書かれていない部分がある。その発言部分を十五字以上二十字以内で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問二 傍線部①「これ」が指す内容を、本文中から八字で抜き出して答えなさい。

問三 傍線部②「いといと便なきことなり」とあるが、勅使は何を「便なきこと」だと言ったのか。その説明として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 阿闍梨が、帝の病気を治す方法をいまだに見つけられていないこと。
- (イ) 阿闍梨が、日が暮れてしまふまで病人と親しく語り合っていること。
- (ウ) 阿闍梨が、長い間、帝の命令を無視し続けて全く従わなかったこと。
- (エ) 阿闍梨が、病人の世話に時間をとられて帝のもとに参上しないこと。

問四 傍線部③「もし我捨てて去りなば、ほとほと命も尽きぬべし」の解釈として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) もし帝が私を捨てて去ってしまったら、私は帝のために自ら命を絶たなければならぬ。
- (イ) もし帝が私を待たずに帰ってしまったら、帝は病気が悪化して命も尽きるに違いない。
- (ウ) もし私が病人を見捨てて去ってしまったら、病人はまもなく亡くなってしまふだろう。
- (エ) もし私が帝の命令に背いて立ち去ってしまったら、私はすぐに殺されてしまふだろう。

問五 傍線部④「時の人ありがたきことになむいひける」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「時の人」は何を「ありがたきこと」だと言ったのか。その説明として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 阿闍梨が、帝の命令に従わない意志を貫き、結局帝のもとに参上しなかったこと。
- (イ) 阿闍梨が、宮中に向かう道中で出会った病人を助けた後、帝の病気を治したこと。
- (ウ) 阿闍梨が、慈悲の心を持ち、帝だけでなく世の中の多くの人々の命を救ったこと。
- (エ) 阿闍梨が、帝と病人の身分を区別せずに、参内よりも病人の介抱を優先したこと。

(2) 傍線部は、文中の「なむ」という助詞によって文末の語形が変化している。これを何の法則というか、四字で答えなさい。また、このような文末変化が認められるものとして適当なものを、次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 泣かで、あたりけり。 (イ) 大納言ぞ、五月に死ぬる。 (ウ) 物忌みなるを、門閉ぢよ。 (エ) 昇らむをだに、見送り給へ。

問六 傍線部 a～dのうち、他と異なる人物を指しているものを一つ選び、記号で答えなさい。

問七 二重傍線部「つひにまめらず」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問八 本文の作者である鴨長明の作品を次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 方丈記 (イ) 枕草子 (ウ) 徒然草 (エ) 源氏物語

三 四字熟語や慣用表現に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の四字熟語には、それぞれ一字の間違ひがある。解答例に従って、誤りの一字を正しい漢字に直しなさい。(解答用紙には正しく直した漢字一字を答えること)

(例) 問題「絶対絶命」——解答「体」

- ① 異句同音    ② 厚顔無知    ③ 新機一転    ④ 公明盛大    ⑤ 起死改生

問二 次の①～⑤の( )に身体の一部を表す漢字一字を入れ、慣用表現を完成させなさい。

- ① 後ろ( )を引かれる思いで故郷を旅立った。  
 ② 同窓会で旧友と再会する日を( )を長くして待つ。  
 ③ マラソンを完走した選手が( )で息をしている。  
 ④ 最近、( )に衣着せぬ発言をする芸能人が話題だ。  
 ⑤ 親友がオリンピックで活躍する姿を見て( )が高い。

四 文法に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の傍線部と意味・用法が同じものを(ア)～(エ)よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 歩きながらスマートフォンを操作するのは危ない。

- (ア) 残念ながら大事な試合に負けてしまった。  
 (イ) 先生の話聞きながらメモを取ろう。  
 (ウ) 頭では分かっているながら行動に移せない。  
 (エ) 近所にある昔ながらの喫茶店が好きだ。

- ② 気づけば彼女のことばかり考えている。

- (ア) 毎日ゲームばかりして全く勉強していない。  
 (イ) 家から学校まで歩いて十分ばかりで着く。  
 (ウ) 買ったばかりの新品の自転車を盗まれた。  
 (エ) 私が悪いと言わんばかりに、皆が私を見た。

問二 次の傍線部の敬語の種類を(ア)～(ウ)よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(同じ記号を何度選んでもよい)

- ① 私はもうすぐ高校一年生になります。  
 ② あなたがおっしゃりたいことは何ですか。  
 ③ どうぞ好きなだけ召し上がってください。  
 ④ ぜひあなたの意見をうかがいたい。  
 ⑤ 母が先生によろしくと申していました。

(ア) 尊敬語    (イ) 謙讓語    (ウ) 丁寧語



# 解 答 用 紙

国				語					
問題番号	答の欄		採点欄	問題番号	答の欄		採点欄		
一	問一	a	構成	2	二	問四	ア イ <b>ウ</b> エ	3	
		b	独占	2		問五	(1)	ア イ ウ <b>エ</b>	3
		c	おお (って)	2			(2)	係り結びの法則	2
		d	おじゅん	2		ア <b>イ</b> ウ エ	2		
		e	困難	2		問六	a b <b>c</b> d	2	
	問二	A	ア <b>イ</b> ウ エ オ カ	2		問七	ついにまいらず	2	
		B	ア イ ウ エ <b>オ</b> カ	2		問八	<b>ア</b> イ ウ エ	2	
		C	ア イ <b>ウ</b> エ オ カ	2		三	①	口	2
	問三	1 2 <b>3</b> 4	2	②			恥	2	
	問四	( 五 )文節	2	問一			③	心	2
	問五	ア イ ウ <b>エ</b>	3				④	正	2
問六	ア イ <b>ウ</b> エ	3	⑤		回		2		
問七	<b>ア</b> イ ウ エ	3	問二		①		髪	2	
問八	初め	与えられた			3		②	首	2
	終わり	きなかった		③			肩	2	
問九	初め	受け入れて		3	④		歯	2	
	終わり	えない社会			⑤		鼻	2	
問十	ア <b>イ</b> ウ エ	3	問一	①	ア <b>イ</b> ウ エ	2			
問十一	ア <b>イ</b> ウ エ	3		②	<b>ア</b> イ ウ エ	2			
二	問一	初め	まゐるまじ	四	問二	①	ア イ <b>ウ</b>	2	
		終わり	の由を申せ			3	②	<b>ア</b> イ ウ	2
	問二	あやしげな る病人	3			③	<b>ア</b> イ ウ	2	
問三	ア イ ウ <b>エ</b>	3	④	ア <b>イ</b> ウ		2			
				⑤		ア <b>イ</b> ウ	2		

2点×10問  
3点×10問 **50**

2点×22問  
3点×2問 **50**

受験番号		名前		得点	
------	--	----	--	----	--